

平成22年度局配分枠予算について

産業観光局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

産業観光局では、厳しい経済状況の影響が大きい中小企業、地場産業への支援、雇用対策に取り組むとともに、新産業の創出など、未来の京都への先行投資となる施策の実施などに重点を置き、予算編成を行った。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

京都市商業活性化アクションプラン（仮称）の策定	1,700千円
「京都市商店街の振興に関する条例」PR事業	2,000千円
「未来の名匠（仮称）」制度の創設	3,500千円
新産業技術研究所 新技術創出・製品開発事業	2,800千円
融資制度預託金（不況対策緊急融資，雇用促進支援融資の創設）	
融資預託金全体予算 130,000,000千円の内数	
社団法人京都市観光協会 50周年事業補助	3,000千円
農耕再生支援事業	5,000千円
「木の文化を大切にすまち・京都」を未来に引き継ぐ実践プロジェクト	
－「京の苗木」生産供給体制整備事業－	5,000千円

<充実事業>

商店街等支援事業（商店街等環境整備支援事業）	
全体事業費	46,416千円（うち、充実分 20,149千円）
融資制度預託金（新規融資枠の拡充：1,500億円→2,200億円）	
全体事業費	130,000,000千円（うち充実分 50,000,000千円）
有害鳥獣捕獲事業	
全体事業費	21,807千円（うち充実分 11,579千円）

<雇用対策事業>

ふるさと雇用再生特別事業	
（公有林環境整備対策事業ほか6事業）	303,000千円
緊急雇用創出事業	
（和装製品製造工程PR拠点の開設ほか19事業）	320,800千円